

入間市地区センター整備計画(素案)に対する意見等一覧表

8. 進め方に関すること		
NO.	意見	市の考え方
279	本計画により令和10年以后、運用廃止となる(4公民館)地域市民の要望、意見をしっかり聴いて欲しい。	
280	地区センター整備計画の説明をお聞きしたいと思います。	
281	地区センター化の趣旨は一定理解できるものの運用面で疑問がある。各公民館ごとに利用者、関係者、地域住民に対する説明会を実施して欲しい。また、「地区コミュニティ会議」についても同様に説明会を実施して欲しい。	
282	具体的にどのようなことを行うのかイメージが湧かない。この部分に関しては対象自治会に対しての説明会を別途実施して欲しい。	
283	YOUTUBEで動画を見ることができて初めて今回の質問書→回答書→意見書提出の流れを知った。その間、市の公式HPでの告知もなく、公民館利用団体のみを対象に意見を募るといやり方は、好ましくないと感じる。市の公式のYOUTUBEで発信する以上、市の公式HPでもきちんと告知をし、きちんと広く意見を募るべきだったのではないか。「原案」以前の「素案」の段階ではあるが、できたら正式な告知をしてほしかった。公民館利用者は、特定の登録団体のみではない。公民館が身近な場所から消えたら選挙の投票には行かないと言う市民もいるが、かように公民館は市民全体が何らかの形で関わる場所であり市民の財産であることを忘れないでほしい。	
284	原案ができた際には住民説明会も行われることと思うが、できたら素案の段階でも説明会を行うくらいに、住民との対話をしてほしい。他の自治体では学校の統廃合の際に100回を超える市民と行政の会合があったという話が、公共施設マネジメント計画の住民説明会で紹介されていた。入間市にも、住民の声をきちんと聴く市政をしてほしい。	令和11年度に施設提供を中止する予定の4分館の利用者等に対しましては、十分な説明をしております。また、説明会の開催等適切な周知を図り、市民の理解が得られるよう努めます。地区センターの運営や、地域づくりにあたっては、住民の皆様の意見を聞きながら、より良い地域づくりに取り組んでまいります。
285	市民住民を軽視し、行政の先走りで先の狭山市との合併を失敗した例を繰り返さぬ様に、十分に住民の同意を得て計画を進める様に拙速は無用、機をみて住民に進行の経過の説明、周知をすること。	
286	身近の公民館がなくなってしまうのは今まで利用している人にとっては体変なことだと思います。もっと時間をかけて関係者の方々から丁寧に意見を聞き、又出し合って考えて頂きたい。	
287	これといった意見は持ち合わせていませんが、計画の進め方についてのお願いです。まずもって、様々な立場や利害関係にある方々の意見を集約しながら計画を進めることは体変なご苦労だと思います。耳に入ってくるころでは、やはり施設の集約によるサービスの低下への不満や、地域防災拠点の減少に対する不安を口にされる方が多いように感じています。言いかたは悪いですが、一度与えたものを取り上げようとするわけですから、組織の内外から色々な形で反発が出るのもやむを得ないことでは、各方面に十分な情報を提供するとともに丁寧な対応を心掛け、先々に禍根を残すことのないよう細心の注意を払って進めてくださるようお願いいたします。これでもかって位しつこくやらないと、往々にして後から「聞いてない」とか「勝手に進めてる」とかの誹謗中傷を受けるハメになってしまいますから。ご自身の手掛けた仕事の成果が明日の入間市の財産になることを信じ、精一杯考えたうえで正しいと思える方向へ歩を進めてください。ご健闘をお祈りしています。	
288	地区センター整備の具体的スケジュールが公表されているが、日程通り進めて欲しい。	令和5年4月の地区センター移行に向けて、着実に準備を進めてまいります。
289	市民にとっては身近な大事な計画、この様な重要なことは郵送文書一編だけでなく、地域関係者、公民館利用団体代表等に説明し、理解を得、意見を引き出す会を開くべきではないか。向故本計画が必要かからの… 始めて文書が届いた側からすれば改めてその理由の説明が欲しい。	コロナ禍での各団体の会議開催状況等を考慮し、動画による説明としました。本計画は入間市公共施設マネジメント事業計画において掲げられた地区センターの整備について、その内容を具体化するために策定するもので、公共施設マネジメントの趣旨を踏まえ、施設の総量の適正化と合わせて施設の複合化や提供するサービスの内容を見直し、機能強化を図る施設において市民サービスの向上を目指しています。
290	地区センター化は大きな 経過期間には他の公民館や分館との連携や活用を十分行い、協調して取り組む姿勢と努力が必要。一方的にならず協調の姿勢で願いたい。	地域づくりは地域住民の皆様と協働で取り組むものであることから、よりよい地域づくりのため、連携体制を検討してまいります。
291	公共施設マネジメント事業計画と地区センター整備計画は一体的に考えるべきではないか。公共施設マネジメント事業計画についての進捗状況等についての情報がない。	本計画は公共施設マネジメント事業計画で示された地区センターの整備について、その整備内容を具体化したものです。施設の改修・更新等公共施設マネジメントに関するものは、公共施設マネジメント事業計画に基づいて実施します。

292	<p>軸足について センター整備計画の軸足は、予算を伴う合理化に向けて、持続可能な施設の統廃合と人員の運用であり、その中に住民へのサービス向上を含めたというスタンスではないかと思えます。 何年も前から知恵を絞り、その構想を形に結び付けた大変な作業だったと思えます。計画を住民に知らしめ、質問を求め、回答し、納得が得られたようにして、構想を創造していく、その手順に誤りは無いものと考えます。 盛り込まれた住民へのサービス維持と向上について、その質を落としてはならないと、構造改革と同等に考えてくださっているものと思えますが、何故かしら個人的には、構造改革に飲み込まれているように感じてしまっています。 改革には断固として実行するという意志が必要ですが、整備計画について伴う障害は、破壊して進むのではなく、融合して乗り越えていくべきものだと思うのです。頂いた回答書を拝見すると模範的な回答がされていますけれども、誠に曖昧で申し訳ないですが、改革ありき、の内容に受け取れるのです。 私の耳にも、「施設の統廃合で潰していく気だ」「弱者いじめだ」「黙っていてもダメだ、行動を起こさなきゃダメだ」といった声が入ってきます。こういった意見がある人には、行政が改革ありきで進行しているのであれば、説明・広報不足なのではないでしょうか。 軸足は当然1本なのですが、あたかも軸足が2本あるがのごとく整備計画は改革と住民サービスの維持向上の2本柱で進めているのだと感じられる回答だとか広報を目指してもらいたい。 項目17質問NO.153 デメリットがあれば知らせて欲しい 現在と今後を対比できるとわかりやすい とありましたが、私も同感です。 メリットは、説得材料として良いのですが、ほっておいても賛同・感謝の声で返ってきます。デメリットは、十分な説明で納得が得られなければ行政全体の障害の要因として残ります。しかし十分な説明をしても当事者だけの納得が得られない様な場合には、大多数が致し方なしと判断されれば、改革の価値ありと判定されるのではないのでしょうか。その時には、デメリットを唱える人に行政と地域がタイアップした対処が必要になるのかもしれない。</p>	<p>現行施設と地区センターとの違いや、地区センター移行に伴うデメリットについても、適切な周知を行い、市民の理解が得られるよう努めます。</p>
293	<p>センター整備計画のより良い達成を願って 大きな改革点は施設の統廃合で、廃止方向のものは、資金、人員などの面から維持不能で不合理となれば、致し方なしとの賛同が得られるものと思えます。 統合は、支所・公民館・地域包括センターなど現場の問題だと思えます。 回答書に「必要なサービスを提供 一体的に取り組み 総合的な相談機能 地域団体の連携を図る拠点となる 6つの機能を整備 連携した対応 相互に協力して」とあるように、メリットの発生しかないように見えますが、現場スタッフは、現状からの変化を全面的に受け入れ、向上に向けて取り組んでもらえるのでしょうか。現場スタッフには十分な説明がなされると共に、十分な提案意見の吸い上げがなされているのでしょうか。 また曖昧で申し訳ないですが、ここでも改革ありきで現場の提案意見が反映されていないのではないかと受け取れるのです。 現場の問題だと申し上げたのは、現場の提案意見の十分な吸い上げが成され、これが反映されれば、メリットの発生しないような地区センターが誕生し、成されていないければデメリットの多い機能の低下した地区センターになりかねないと思うからです。 現場スタッフは、住民と接して、住人の大小の要望を含め必要なこと、そうでないものをくみ取り、少しずつ向上を積み上げてきた人たちです。物的にも人的にも、働き甲斐があり、働きやすく、前向きになれる現場になるよう、決して改革ありきで現場の提案意見を大切にしないような取り組みだけは避け、地区センター整備計画を推進して頂きたいと願います。</p>	<p>移行までの期間に十分な調整を図ってまいります。</p>
294	<p>施設整備も課題として6つの機能を持った行政事務を二つに分けた事務室は住民の戸惑いが予想されると思われるので、周知を徹底して頂きたい。</p>	<p>来所者に分かりやすいような案内や周知を工夫します。</p>
295	<p>いづれにしても、地区センター移行については、足場を固めてしっかりした計画の下で、焦らずにじっくりと入間市独特の地区センターの整備をお願いしたい。</p>	<p>本計画に基づき、地区センターへの移行を進めるとともに、移行後も社会状況や市民ニーズを反映し、適宜改善を図ってまいります。</p>
296	<p>各公民館毎に問題点等相違しており、地区センターへのスムーズな移行を図るため聞き取りだけでなく担当者が現地を確認し種々のシミュレーションを行った上手続きを進めて頂きたい。</p>	<p>適宜現地確認を行ったうえで、移行に向けた調整を進めます。</p>
297	<p>利用者として二本木公民館で資料をいただき、「意見」を出せること、締め切り日など、初めて、知りました。それから市の説明プリントを読みましたが、分からないこと、質問したいことなどたくさんありました。市民の多くは良く分からないまま。したがって意見を出す機会もなく、「公民館削減」「多目的機能導入」が決まってしまうということが分かりました。このような決め方は反対です。 市の進め方、「説明不足のまま市民の意見も聞かず進め、決定しようとしている」と分かりました。したがって市のやり方に問題があり、「地区センター整備計画」を撤回すべきと考えます。</p>	<p>コロナ禍での各団体の会議開催状況等を考慮し、動画による説明としました。パブリックコメント等で寄せられる意見数と比較すると、非常に多くの意見をいただきました。</p>
298	<p>計画実現のために 今回の「入間市地区センター整備計画(素案)」は、これまで本庁、支所、公民館が行ってきた地域のまちづくりの視点や方法を広く、細かく、さらには計画的、組織的、意図的に進める手法が必要になると思えます。そのためには、携わる職員はもとより、行政全体が地域を「見る目」や地域への関わり方を見直していく必要があると思えます。 また、計画策定については、多くの意見、要望の反映を検討しながら成案としてまとめることは、極めて大変な作業になると思えます。重要なことは、計画を策定することではなく、計画を実施、実現し、市民サービスの充実、地域づくりの推進などの地区センターの目的を達成していくことにあります。 このためには、これらの関わる職員の人材確保と育成が大変重要な要素となります。市長を先頭に職員が一丸となって取り組まれ、策定された計画を確実に実現するため、確固たる意欲と信念にもとづき、進めていただくことを強く要望します。</p>	<p>直接的に携わる職員だけでなく、市全体が一丸となって、将来を見据えた地域づくりに取り組んでまいります。</p>

299	<p>公民館の地区センター化は撤回すべきです。 総務省の行政改革案が出されたのが、2004年(平成18年)の行政改革指針であり、13年の月日で日本の置かれている状況は大きく変化してきました。 とりわけ、世界を席卷した新型コロナウイルスの猛威は、いまだに続いており、これからの行政の在り方が大きく問われています。 公共施設が民間企業の儲けの場になっていいわけがありません。市民の利便性、要望から設けられた施設である以上、その時の何らかの方針、理由があったはずで、それらを覆すには、過去の経緯、責任が問われます。その総括しないまま、目先の事にとられるのは愚の骨頂です。 施設整備計画だけが独り歩きしていますが、その他の入間市ビジョンが示されず、少子化対策、高齢者対策、貧困対策、交通問題等置き去りにされている現状を改め、全体像を示したうえで、市民に提案するべきです。国の「自助」押し付けで、「共助」「公助」を置き去りにした、今の入間市から考えるべきです。市民あっての入間市です。入間市民への地方自治体の姿勢を考えてから計画すべきです。 コロナ禍以前に決められた政策は、すべて見直すべきです。 何故ならば、今までに経験したことのない、社会改革、意識改革が求められているのに、そのことを意識しないで、今まで通りの事をしようとするのは、怠慢のそしりを免れません。</p>	<p>地区センターへの移行は当初令和4年4月を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響や、市長交代等の変化を踏まえ1年延期しています。本計画は新型コロナウイルスによる社会の変容等を踏まえて全体を見直しています。</p>
300	<p>公共施設の統廃合総合計画は根本から見直しが必要です。 当初計画の9地域9分割案は、人も施設も3割減らすとしていました。今後の人口減少や財源不足を理由にしてきたと思います。 入間市民への説明不足は解消されないまま、また、市民の質問にまともに答えないままゴリ押しをしてきた経過があります。市民の声を真面目に聞く姿勢がないと言わざるを得ません。説明できないことを考えるべきではありません。</p>	<p>市の財政規模や人口減少から、すべての施設をこれまでどおり維持することはできないため、必要な施設サービスを持続的に提供していくために、社会状況や市民ニーズの変化を踏まえて公共施設マネジメントを推進しています。</p>
301	<p>11月のユーチューブ説明、今回の意見書提出は、一般市民に告知することなく、ただ、やったと実績作りになっています。 あまりにも市民をないがしろにしたやり方は許せません。 企画課政策推進室の現場の声を聞かない、市の職員の声を聞かない、そして一番大事な市民の声を聞かない計画は間違っています。 公民館を利用している市民、利用者の声を聞いてから計画を立てるべきです。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、動画配信による説明・意見聴取としましたが、関係団体や公民館利用団体から多くの意見が寄せられ、一律にパブリックコメント等を実施するよりも、効果的な意見聴取が実施できたものと認識しています。</p>
302	<p>素案、提案は確定事項ではなく、あくまでも案であり、入間市を住みよい、住みやすい街にしていこうとしている市民の声をしっかりと聞くべきです。 行政の都合のよい理屈を並べ立てて、その根拠も不明確の素案を一歩的に押し付けてくるやり方は、入間市当局の傲慢な市政運営としか言えません。 計画案が示されても、必ず不確定特記事項が含まれ、大筋を逸脱した特記事項が優先するやり方がまかり通る手法は、市民の事を思っている方法とは言えません。 PSIによる市庁舎建替え、民間導入による給食センター建替え、公共施設の公社化、公民館の地区センター化、市職員の非正規化、無秩序の民営化、市民の声を無視する市政手法、国の言いなりの無反省、無思考の姿勢を改め、市民への福祉向上、行政サービスを一に考え実行すべきです。</p>	<p>将来世代に負担を残さないという公共施設マネジメントの目的を踏まえつつ、統廃合による施設の減少によるデメリットを、存続する施設の機能強化で補い、市民サービスの強化や利便性の向上につなげてまいります。</p>
303	<p>決まりもしていないのに、4月には組織改編をするなどもってのほかです。 「別の課で決まったことだから」新しい課ではわかりません。逃げの手を使うことは、市民への責任放棄です。</p>	<p>新旧の所管課間で適切な引継ぎを行うとともに、関係する部署が連携し、市全体で責任をもって整備を進めます。</p>
304	<p>新しい建物を壊し、古い建物の改装、設備改装を合理的な説明もないままに無理やりする計画は反対です。 施設を利用する利用者の利便性、地域の防災施設としての役割、地域コミュニケーションの場などとして存在する公民館、支所です。</p>	<p>地区センターは現在の支所・公民館が担っている役割を引き継ぐとともに、福祉総合相談窓口や地域包括支援センター等の機能を追加し、より利便性の高い施設とする考えです。</p>
305	<p>現職員の公民館長の意見、今後のセンターの在り方等の話し合いとか、地域特性により公民館の在り方等について調整してみることが必要ではないでしょうか？</p>	<p>整備計画の策定にあたり、各機能の所管課と調整を図っています。地区センター移行後は各地域の特性により、地区センターごとの色が出てくるものと考えますが、整備計画においては、9施設共通の基本となる整備内容についてまとめております。</p>